

山岳トイレ技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成18年度の進捗状況

本年度より受益者負担の観点から実証申請者から手数料を徴収する体制（手数料徴収体制）に移行。

(1) ワーキンググループ（WG）開催状況等

- ・今年度、WG検討会は5回程度開催予定

（WG検討員名簿は資料1-3-2参照）

(2) 実証機関における実証試験の進捗状況等

- ・実証機関の公募

平成18年2月14日～3月2日

応募者：特定非営利活動法人 1団体

- ・実証運営機関の実証機関兼務

実証機関の応募が1団体であったため、実証運営機関（特定非営利活動法人 山のECHO）が実証機関の機能を兼ねて、複数の実証機関が対象技術の公募を行うことについて検討中。

2. 今後の予定

- ・実証機関の選定 （6月下旬）
- ・実証対象技術の募集 （6月下旬）
- ・実証対象技術の承認 （7月）
- ・実証試験開始 （8月）

平成 1 8 年度環境技術実証モデル事業検討会
山岳トイレし尿処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

- 柏原 一正 (有)鹿島槍観光開発(冷池山荘、種池山荘、新越乗越山荘)
桜井 敏郎 (社)神奈川県生活水保全協会理事
鈴木 富雄 長野県環境保全研究所専門研究員
船水 尚行 北海道大学大学院工学研究科教授
森 武昭 神奈川工科大学電気電子工学科教授 <座長>
吉田 孝男 N P O 環境資源保全研究会代表
渡辺 孝雄 (財)日本環境整備教育センター調査研究部主幹

(50音順、敬称略)